

勝負 - 自己との戦い、要は人なり - 「想いを形に」

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 門脇浩二 編集責任者 夏野慎介 印刷所 東京印刷製

5月例会報告



平成15年5月15日、米子コンベンションセンターにおいて国際交流委員会担当による5月例会がおこなわれた。冒頭門脇会長より「残すところ後2カ月、門脇年度の最後に（想いを）何らかの形で残すよう頑張ってください。」とラストスパートへ向けての激励があり、続いて3名の新入会員（木下立己会員、平田和久会員、牧田継夫会員）へバッヂ授与が行われた。トライアスロンタイムでは『武士道』の観点からトライアスロンを捉え、涼やかに燃える男後藤（公）会員が咆哮し、会場の温度も約0.7℃上昇する中、会は臨時総会へと進行。小椋副会長の議事進行の下、浜田次年度会長も「個性派揃いの素晴らしい面々!」と自信をもって推薦された次年度役員が満場一致で承認。続く委員長タイムでは、出席率低下を憂慮する小原広報委員長より、委員会・例会への積極参加が呼びかけられた。



この度の例会では、国際交流委員会の委員会発表が併せて行われ、最初に中本委員長より『ルックウェスト』～西方への勝負、要は人なり～の趣旨説明の後、ビデオ『青年中央会の中国大陸見聞』が上映。清々しいBGMと何気なく重々しい(?)映像のギャップに会場はほのかに動揺を隠しきれない様相を呈しながらも、続く向井会員、長谷川(貴)会員、野口会員、土井(一)会員からの活動報告を以て、委員会発表は締め括られた。続く講演会では、『企業誘致大国中国の現状』をテーマに、徳永法律事務所 池田伸一司法書士をお迎えした。ハイリスク・ハイリターンと称される中国の企業誘致事情を背景に、『失敗は成功の母??』という視点から失敗事例の紹介を織り交ぜながら、「中国人の民族性を理解し、パートナーを厳選する、それが成功の為の条件である。」とされ、キーワードを希しくも『要は人なり』と結論付けられた。



次年度理事決定



花園直樹会員



岩崎俊和会員



山根宏典会員



多賀彰穂会員



松浦光善会員



後藤公平会員



福田一哉会員



水 康徳会員

コピーをして名簿にお貼り下さい

(ぎずな)
木下立己 A B型
（株）ユニサン 社長室室長
食品スーパー
〒683-0846 米子市安倍103-1
TEL. 0859-29-6611 FAX 0859-29-6613

H15.5入会 (推薦者) 土井(一) 山根
〈自宅〉米子市安倍1202
〒683-0846 S 45.8.18 TEL.0859-29-8353

〈コメント〉
この度、5月より入会させて頂くことになりました木下立己です。米子市を中心に3店舗あります食品スーパー「ユニサン」に勤めております。皆様に教を賜りながら、何事にも一歩前に出て行動できるよう努めます。どうぞよろしくお願ひ致します。

(経営者)
平田和久 A型
（株）平田組 営業係長
建築工事業
〒683-0805 米子市西福原3丁目11番25号
TEL. 0859-33-3351 FAX 0859-32-2490

H15.5入会 (推薦者) 伊藤 花田
〈自宅〉米子市東福原3-7-23
〒683-0802 S 45.2.5 TEL.0859-32-0648

〈コメント〉
この度、5月に入会させて頂きました平田和久と申します。（株）平田組で営業をしております。中央会の活動を通じて多くの方々に出会い、いろいろな事を学んでいきたいと思っています。また、トライアスロン等で地域の皆様方のお役にたてればと考えております。未熟者ではございますが、一生懸命頑張りますので、ご指導の程、宜しくお願い致します。

(国際交流)
牧田継夫 B型
土地家屋調査士 牧田継夫事務所 所長
土地・建物の登記、測量
〒683-0854 米子市彦名町928番地5
TEL. 0859-29-0860 FAX 0859-29-0948

H15.5入会 (推薦者) 中本 渡辺
〈自宅〉米子市彦名町928番地5
〒683-0854 S 46.9.25 TEL.0859-29-0860

〈コメント〉
この度入会させて頂きました、土地家屋調査士の牧田継夫と申します。この仕事は、土地・建物の測量・登記を行います。権利意識が高まるなか、知識・技術はもちろんのこと、人間性が問われる時代になる、と思っております。中央会の諸先輩方のご指導を頂きながら自分自身の「人間性」を磨き、微力ながらも中央会や地域に貢献できるよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

ズームイン松原のよいたんぼう通信

競馬と言うと他のしていない人から見れば、「ただ単なる賭事」とあまり良いイメージはないと思いますが実際してみると面白い面はある。馬の父母・蹄の形・体重・脚質・競馬場の天気・コース・距離・芝の具合これらのデータを分析して馬券を当てた時など金額の大小に関わらず何とも言えない気分だ。又自分が買っている馬が4コーナーを曲がり直線に向いて良い位置にいるときなど一瞬我を忘れてその馬に見入る。幼い頃我を忘れて何かに没頭していたのと一瞬同じ感じだ！

大きくなるにつれてだんだん我を忘れて何かに没頭する瞬間が少なくなってきた中で自分的には結構貴重な時間だと思う。



言わしてごしない EPISODE 9

私と皆生トライアスロン

私が皆生トライアスロンに関わったきっかけは、当時の所属委員長より、「お前、マラソン部に入れ」という一言でした。しかし、生まれてこの方、陸上競技では良い思い出のない私は、即座に「自分は、かけこは全くダメです。」と言うと「お前は、走らんでいいんだ。走る人のお手伝いをするんだ。」と言われ、当時まだ中央会に入っただけで「NO」と言えば後々立場が悪くなるかと考え「宜しくお願ひします。」と言ってしまいました。さて、初顔合わせでメンバーに出会った第一印象は皆楽しそうだったことです。「そんなに面白いことなのかな?」と言う気持ちでした。先ず、始めに食器などを倉庫から引っ張り出してきて洗うのですが、この食器が汚い!「こんなものでよく保健所からクリームが来ませんね」と言う、「大丈夫。彼等は鉄人だから」という、判ったような判らんような返事。次に掲示板を出してきてのチェック。そして、ポスター貼り。このときは、一軒一軒、店を回り貼らせてもらうのですがもう手当たり次第です。中にはレンタルビデオ屋に貼らせてもらい「巨乳なら」のポスターの横にそれに負けないぐらいの迫力でトライアスロンのポスターが貼ってあるという状態です。大会が近付くと掲示板の設置、走路の点検清掃などだんだんと仕事量が増えていきます。さて、トライアスロン当日、朝5時集合。楽しみな?ナンバリングの手伝いを終え、選手を送りだしほっとする間もなく、コースチェックに出発です。選手がマラソンに移ると戦場のような忙しさになってきます。夜10時最後のアスリートが帰ってきて長い長い日がやっと終わります。本当に大変な作業ですが満足そうな選手の顔を見ていると、その疲れも報われるような気がします。毎年、口では「もう二度とやらん」と言いながらも、やっぱり来年も参加しているんだろうなと思ながら家路につきます。

(匿名希望の運動不足のマラソン部員より)

トライアスロン通信

マラソン部より協力依頼 マラソン部長 増井幸一

日時：6月17日(火) AM9:30~AM12:00
作業内容：ポスター貼り
集合場所：皆生観光センター

日時：6月24日(火) AM9:30~AM12:00
作業内容：備品洗浄
集合場所：皆生観光センター

平成14年度第2回OB交流会

日時 平成15年6月14日(土) 午後6時30分
場所 米子全日空ホテル
会費 8,000円

6月例会案内

とき 平成15年6月16日(月) 19:00~
ところ 米子コンベンションセンター・小ホール
委員会報告並びに次年度委員長抱負

6月役員会報告

役員会が平成15年6月2日(月)、米子食品会館に於て開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。
(1) 6月例会・7月総会開催の件
(2) 青経連の件
(3) トライアスロンの件
(4) 収支見込の件
(5) その他

県青年中央会親睦交流事業 グラウンドゴルフ大会報告



5月18日(日)、グラウンドゴルフ発祥の地 泊村 潮風の丘とまりグラウンドゴルフ場にて「県青年中央会親睦グラウンドゴルフ大会」が行われた。会場となった潮風の丘とまりは、雄大な日本海がみわたせ、風力発電設備が設置してある気持ちよくプレーできる環境だった。当日は日曜日であり家族づれで賑わっていた。西部会員22名、東部会員26名、中部会員18名、総勢66名にて快晴の天気の下、グラウンドゴルフに汗を流した。

中部会員のルール説明のあとプレーが始まり、本年度も西部は優勝かと思われたが、接戦のすえ東部に優勝を取られた。団体優勝は逃したものの、個人優勝は西部の渡辺一徳君が優勝の栄に

ついていた。親睦会は公園内のバーベキューハウス かめさんにて行われ、次年度各地区会長紹介卒会生紹介や本年度トライアスロン皆生大会出場選手紹介等和やかに進み閉会となった。

春の一日を、各地区の会員との交流を深め、体を動かした有意義な日になったと思う。最後に大会の準備から懇親会の段取りまでされた中部の会員の方々には大変お世話になりました。

次年度は西部の市位会員が県会長になられます。西部の会員のご協力をお願いします。



(県出向 三嶋雄司)

成績

団体優勝：東部 準優勝：西部 3位：中部

個人優勝：渡辺一徳(西部)

ホールインワン：桶村清子、渡辺一徳、後藤秀之他

What's中央会 第10回 バッチの謎

①バッチについて

昭和50年9月の設立から昭和57年度までは、親会である中小企業団体中央会のバッチを付けていた。それを独自のバッチをとの声が上がりに、東部の役員が中心となり、昭和58年度(会長 木村武生氏・光商会社長)に現行のバッチを作成し現在に至っている。

②TSCとは何の略か

T…鳥取県 TOTTORIKEN

S…青年 SEINEN

C…中央会 CHUOUKAI

③会旗について

会旗については、平成6年度まではマークを中小企業団体中央会のものを使用していたが、平成7年7月22日、ホテルサンルート米子において開催の鳥取県中小企業青年中央会の創立20周年パーティー(会長 角田茂樹氏・双美商会社長)の席上で、現行の会旗のお披露目が行われ、現在に至っている。

(ちなみに、発注先は米子市紺屋町の松田染物店)

(足立 徹)

5月度委員会報告

きずな委員会

平成15年5月8日(木) 於：じごん東 出席者/13名

内容/①1年間のまとめ

②打上げ旅行について

③新入会員紹介

情報メディア委員会

平成15年5月13日(火) 於：米子食品会館 出席者/6名

内容/①情報政策提言書について(まとめと日程)

②打上げ委員会について

政治行政委員会

平成15年5月8日(木) 於：ホールサムイン皆生 出席者/10名

内容/①1年間のまとめ

②打上げ研修旅行について

モラル委員会

平成15年5月9日(金) 於：ホールサムイン皆生 出席者/10名

内容/①1年間のまとめ

②委員会打上げの打ち合わせ

国際交流委員会

平成15年5月7日(水) 於：米子コンベンションセンター 出席者/13名

内容/①5月担当例会打合せ

②会場内の確認

経営委員会

平成15年5月6日(火) 於：米子食品会館 出席者/6名

内容/①1年間のまとめ及び反省

②新入会員紹介

広報委員会

平成15年5月8日(木) 於：四季庵 出席者/7名

内容/①ハンサム6月号担当割

②委員会報告・卒会寄稿文集成について

③6月担当例会について

総務委員会

平成15年5月9日(金) 於：いろは精肉本店 出席者/14名

内容/①備品リストについて

②1年間のまとめについて

園ちゃんの釣りバカ日誌

6月の声を聞き梅雨入りも目前だが、この頃になると決って気持ちがソワソワしてくる。別に雨降りが好きなのではないし、湿度の高い気候が体質に合っている訳でもない。鬱陶しい季節であるにも拘わらず、では何故にひとり浮かっているのかと言えば、本格的な「キス」のシーズンを迎えたからに他ならない。(注：魚の「鱈」の事を言っているのであって、断じて「KISS」ではない…)

シロギスの投釣りにはまって今年で5シーズン目を迎える。門脇会長の船釣り、浜田次年度のチヌ釣りなど会員の中にもいわゆる釣キチは多いが私の場合ほとんかく「シロギス命」なのである。キスの仲間は東北以南の砂地の海に広く棲息し、誰でも手軽に楽しめる釣りの対象魚として知られ、山陰でも昔から親しみを込めて「キスゴ」と呼び日常的に食されて来た。

この様に簡単お手軽なキス釣りではあるのだが数ではなく、そのサイズに拘わりだすと俄然奥深さを増し投釣り師たちを虜にしてしまう程の魅力を帯びて来る。何の魚にも超大物というのが稀にいるが、シロギスの場合は30センチオーバーがその目安である。尺ギスは針の掛った口許を持って持ち上げると尾ヒレが肘をたたく程の大物と言う意味で通称「ヒジタタキ」(そのまんま…)と呼ばれ、このサイズまで成長するのには何と8~10年かかるとも言われている。ちなみ

に皆さんが天ぷらで食べておられるのは15~18センチ程の大きさなので縦×横幅がほぼ2倍の天ぷらを想像して下さればその大きさが御理解いただけるであろう。

欺く言う私も今だかつて尺ギスを釣り上げた経験は無く29.5センチが最大である。然るに今年も超大物を追い求め東は青谷町から西は浜田市まで文字通り東奔西走する日々が始まるのであるが、今この文章を書きながらふと思いついた事がある。それはいつの日にか尺ギスとの対面を夢見ている今が実はいちばん楽しい時間なのではないのかという事である。それに本当に自分で釣り上げてしまったら、それこそいとおしくてリリースしてしまうかも知れない。(キザ過ぎ?) その時の為に仕事中ですらあまり持ち歩かないカメラ付携帯だけは忘れず持って行こうと心に決めている。

何か取り留めのない文章になってしまったが、おしまいに大好きな作家・開高 健の代表的著書「オーパ!」から中国の古諺を御紹介して締め括りしたい。

- 一時間、幸せになりたかったら 酒を飲みなさい。
- 三日間、幸せになりたかったら 結婚しなさい。
- 八日間、幸せになりたかったら 豚を殺して食べなさい。
- 永遠に、幸せになりたかったら 釣りを覚えなさい。

(花園直樹)

萬谷式 激 ダイエット道場(短期集中連載 前編)

~これは道場主 萬谷正明先生の激しいダイエットの記録である~

1. 事の発端

平成12年8月、萬谷氏はツーリングをした時の記念写真を友人から受け取った。彼はそこに写っていた自分の姿に違和感を覚えた…

「これ誰?合成写真?それとも別人??」

その時の写真を取材班は入手した(右)。はっきりと写っている人物はとても現在の萬谷氏のように見えない。どちらかという電波少年のT部長に似ている。

この時の萬谷氏 体重95kg、ウエスト95cm

(当時なんと、朝・昼・3時・夜・寝前の1日5食!←いわゆる「太って当たり前状態」)そして、その時の衝撃が萬谷氏を目覚めさせた。

これは、それから2ヶ月間で-25kg(ウエスト79cm)という信じがたいダイエットを成功させた「萬谷式ダイエット」の激闘記録である。



2. 「萬谷式ダイエット」とは?

萬谷式ダイエットは、一口に言って「いろんなダイエットのいいとこ取り」である。ダイエット最盛期の標準的な1日を追ってみよう。

朝：なし

昼：大皿にいっぱい野菜(繊維質のものを採る)

夜：普通の食事(ただし主食は玄米・萬谷家には「玄米用炊飯器」がある)

※その他気をつけた点

・肉はササミのみ(体脂肪率を下げる効果あり)

・肉より魚

・お茶はおからを煎ったもの(「おもいきりテレビ」でみのもんたが「いい!」と言ってたから始めたらいい…。おちゃめな男である。)

3. ダイエットの経過

95kgから90kgへはすぐに落ちた。「が!」そこからなかなか落ちない。普通、ほとんどの人はそこであきらめるのだが、萬谷氏は一度もあきらめたことがない(らしい)。

ここからなんと毎日1kgずつ落ちていくのであるが、ある日の夜、夫婦で就寝しているととんでもないことが起こったのである!!(以下次号につづく)

この記事は萬谷氏の熱血ダイエットを記事にしたものであり、「太っている」「痩せている」ということに対して賛否を送っているものではありません。

(ハンサム特別取材班)